

支えあって ふれ合って…

# 絆の杜

No.42

2015. March

社会福祉法人 光道園



## 特集「好きなこと」

みんなの(好)きなこと教えてください

表紙

- 2 生花クラブ (好)は、お花にふれること
- 3 「腕におぼえあり」岩崎 保彦様
- 4 「楽しいな生活を送る」安西 アサエ様
- 5 「(好) 僕の車の世界」服部 茂道様
- 6 詩吟クラブ

- 7 ギタークラブ
- 8 (好)から生まれる笑顔 たねのいえ
- 9 ひかりっこの子どもたち“節分会”
- 10 「仕事が(好)」北野 幸子様
- 11 爆釣 1091 会 釣り(好)野郎共
- 12 「陶華星」「フ・クレール」広告



「私たちの好きな事は、お花に触れることです。」



生け花クラブは今年で七年目になります。在職中から渡辺義子さん（職員OB）に生け花クラブを担当して頂いています。活動は、月二回（日曜日）に行っており、皆さんお花が大好きでクラブの時間を楽しみにされています。ライトホープセンターの廊下で、生けたお花を見るたびに、もうすぐ春なんだなと、季節を感じ、心が豊かになります。

メンバーに、生け花の楽しさについて、伺いました。

❁ 初めに自分でお花を挿し、その後、先生が、教えながら直してくれます。お花の色がとても綺麗で薔薇、菊、チューリップが好きです。  
河野 京子さん

❁ お花は壊れやすいから優しく触らんとあかんのや。お花に触れる事がとても楽しいです。  
白井 トキ子さん

❁ 力がなくなって、切る事は出来ないが、今は左手で花瓶にお花を入れる事は出来ます。お花は、とてもいい匂いです。先生が説明しながら直して下さるので、どう生けたら良いのかが分かるので楽しいです。  
前田 一十三さん

❁ お花に触れるし、終わってからのお茶会も楽しみです。  
林田 次子さん

❁ 大好きなお花に触れるし、お花を切ったりするのも好きや、お花の匂いが好きです。  
坪井 幸雄さん

長年、生け花クラブの活動に携わっている  
渡辺義子さんより一言

毎回、楽しくクラブをさせて頂いております。今まで嬉しい事や、えっ！と思った事など色々とありましたが誰もやめることなくニコニコと集まって来られます。「お花大好きや。今度いつや。皆、風邪ひいたらあかんで。お花で気分よくなるでな・・・。」こんな会話に私は支えられています。

文 援護二課 中林 千恵子  
撮影 白崎 弘子



「好きなものはなんですか？」  
「んー。そりゃ、あれよ。食べる事  
かなあ。」

こんな唐突な質問にも真剣に答えて頂きました。ご紹介します。就労支援事業所フ・クレールでお仕事をされている岩崎保彦さんです。岩崎さんは、三十年程、大工職人として働いていました。岩崎さんとお話していると、私の頭の中には、以前NHKで放送されていた『イキのいい奴』というドラマの中で、俳優の小林薫さんが演じる寿司職人、兵藤晋作が浮かんできます。いかにも職人気質というか、その反面、情に深い面もあり、そのイメージがぴったり当てはまる方です。

地元、富山県で大工の仕事をされていた頃は、立山室堂の山小屋を建てたり、合掌作りの建物を建てたり、大工として、忙しい日々を過ごされていました。当時の様子を思い浮かべながら、「親方から、ノミやらトンカチやら飛んできてよお。五年位たった頃から、やっと認められた感じだったかあ。」と懐かしそうに話してくれ

ました。六年前に光道園に來られ、そこで初めてパンの仕事に出会いました。「いやあ。びっくりしたよ。まさかパン作るとは思ってたかったかなあ。」と笑いながらも、そこは、さすが物作りのプロです。職人にかわからない微妙な感覚がパン作りにも活かす事が出来たとおっしゃるように、今では、フ・クレールのパン製造部門の親的存在です。撮影の為に、取材をさせてもらいましたが、調理場は、常にピリっとした緊張感が漂っていました。この緊張感こそが、フ・クレールの美味しいパンの土台となっていると感じました。仕事には多くは語りませんが、その背中からは、職人としてプライドを感じました。

そんな職人肌な岩崎さんですが、お話を聞く中で、顔の表情が緩む場面が何度かありました。それは、お孫さんの話です。お孫さんは、おじいちゃんが作ったパンが大好きだそう。お孫さんへ送ったりしているそうです。「スノーボールも好きだよお。」というその顔は、ジャムおじ

さんです。昨年も福井に來られて、菊人形に行ってきたそうで、その表情は、緩みっぱなしでした。  
「職人」であり、「ジャムおじさん」である岩崎さんが作るパンには、こだわりと愛情がたっぷり入っています。

最後に、もう一度岩崎さんに質問してみました。「好きなものはなんですか？」「やっぱりよ。物作ったり、仕事することかな。七十歳、八十歳になっても仕事できたらいいわ。」  
そうです！職人に定年はありません！

是非、あの大きな背中に会いに、フ・クレールに足を運んでください。こだわりのパンに出会えますよ！



取材 企画調整室 青山 直人

## 『楽しみな 生活をおくる』



「デイサービスセンターさざんかホールの玄関を入ると、色紙に書かれた四季折々の水墨画が目につきます。デイサービスをご利用されている安西アサエ様の書かれた物です。」

三十七歳の時、故中道園長とのご縁で四国より福井に来られ光道園で仕事をされています。長く光道園の歴史を知っておられる方で、時々昔の光道園であった事を話して下さいます。

「子供の頃から本を読むのが好きでよく読まれていたとの事ですが、今もさざんかホールをご利用される時、総務課で本を借りて読まれています。」

「最近、サスペンス物をよく読まれているとの事です。福井に来られ、水墨画、日本人形、紙フラワー、俳句などとの出会いもあり、いろいろな事に興味を持たれて活動的にされていたと聞きました。今は「もう年とつたし、何もしたくない」と言われますが、新聞の広告を持って帰られ、自宅でごみ入れを作ってきて下さり活用させていただいています。」

「これを作る事は楽しみなんや」と言われます。また、秋に創作活動として、かぼちゃの色塗りをされた時に、添えられた俳句には『ふるさとの母想いだす栗かぼちゃ』と書かれています。よく子供の頃の話や、故郷の話をされますが、この俳句はお母さんに対する暖かい温もりが伝わって来るようです。」

「今、何かしたい事がありますか」と尋ねると、「若い頃は、福井の駅前のハギレヤ(手芸屋)によく行ったな。また、手芸屋さんに行つて見てきたい。どんなものあるかわからんし、私の出来るのあるかな」と言われます。「もう少し暖かくなつたら見に行きますか?」と話す、「行きた〜い。連れて行つて。」と笑顔をみせてくださいました。」

「楽しみが一つ出来たようです。若い頃から、前向きにいろんなことに挑戦されてきた安西様。その姿勢は安西様の生き方そのものにつながっているように思います。」

「これからも楽しみのある生活を送れるように、さざんかホールでもお手伝いしていけたらと思います。」

文 地域生活支援課 杉本 かわり



# 「強くて速くてカッコいい 僕の車の世界」



「好きな事」とは何か：。  
今の私にとっては「模型を作る事」ニッパなど使い平面のパーツをより立体化して完成させ、達成感を味わいながらも実際に手に取り、様々な想像を掻き立てる：この充実感は何とも言えません。  
盲ろう者の服部茂道さんもそんな思いの中で、余暇時間の中、「好きな事」に没頭しているのではないかと感じています。自主的に食堂

掃除のお手伝いや男性であっても座布団を細かく丁寧に縫ったりされて、多趣味のように思いますが、ご本人にとって好きな事は何か。ズバリ「車」です。現在の自動車業界においては、数百種類ものタイプがリリースされている中、毎月購入される自動車雑誌を手に取り、ユニット職員や休日になると本館日勤・宿直者に点字用紙を手元に置き、代読をお願いしています。「車の大きさは？」「エンジンのタイプは？」「4WDは速い！」等ご本人の持っている情報・知識を交えながら気づいたこと等を話されます。とにかく強くて速くてカッコいい物が特に好きなようで、イメージを楽しそうに大きく膨らませていきます。視覚障がいがあるため、実際に手に取りたいの思いの中、居室で今まで職員と作ったプラモデルの細部まで触れて



楽しまれています。

「物を作る事」も本人にとつて好きな事でもあり、得意な事です。最近ではバイクのプラモデルを作りました。担当者と共に余暇時間の中でご本人なりに組み立てたプラモデルは不細工でどこもない部分もありますが、一人で作るよりも達成感が何倍にもなります。本を説明するよりも小さくても立体化されたパーツである為、「へえここはこんな形になっているんだ！」と興味深く、なおかつ慎重に手に取る様子も

伺え、時には笑顔も見られます。この時間は本人にとって限られた時間ではありますが有意義ですばらしい時間であるに違いありません。  
「好きな事」とは自分にしかない有意義な時間が過ごせるアイテムの一つとして考えています。これからもそんな好きな事に没頭している服部茂道さんを心から応援していきたいです。



文 療 護 課 津 田 真 一

## 僕達の好きなこと

「次の詩吟クラブはいつかな？」

毎月、第一・第三火曜日に行われる詩吟クラブは今年で三十二年目を迎えます。

詩吟クラブがある当日の朝になると、クラブを楽しみにしているHさんやAさんはクラブ担当の職員にいつも「今日、詩吟クラブあるんか…？詩吟クラブ何時からあるの？四時からか？測辺さん来るんか…？」と確認に来られます。

重度な盲重複障がいのある方々の参加の為、リビングに集まること、一人一人が合わせて詩吟を歌う、音の上がり下がりや声の大きさなど声を出すことは今でも難しい事のひとつです。

しかし、詩吟クラブが好きであり、参加への意気込みは人一倍あり、皆さんは詩吟クラブを楽しみに待っています。

Hさんは詩吟クラブがあると部屋から「詩吟クラブに行きますよ〜。」と声を出します。クラブではマイク



練習風景

を向けられるとひとこと、ひとことをゆつくり声に出します。また友達が詩吟を吟じている時は静かにしていることができるようになってきています。和やかな時間が過ぎていきます。

一年間のクラブ発表の場として光道園の文化祭があります。昨年までは詩吟クラブ員合同での発表が何曲もありましたが、今年度は一人でのうたいを三人の方が各一曲ずつ披露され、合同のうたいも数曲ありました。少しずつ皆が練習してきた成果

と、一人でも詩吟を披露できたことはとても素晴らしい、感動しました。詩吟クラブでの「楽しみ、好きなこと」として、一つ目は、詩吟を練習して文化祭で皆に披露することです。

二つ目は、年三回あるクラブでの食事会への参加です。春は親睦会として新年度の顔合わせ、年末の忘年会と、年度末の反省会では、来年に向けての活動内容を話し合います。

長い間、利用者様が楽しく、明るくひとつのクラブを続けられていることや、「好きなこと」としてクラブに参加できることはとても有意義で楽しみなことです。

「継続は力なり」これからも一人でも多く、詩吟クラブ員の方が文化祭のステージで一人で詩吟を披露できるようになればいいと思います。また気の合う仲間が一人でも多く、楽しい時間を共有できればいいなあと思います。ますますのご活躍を願います。

文 療 護 一 課 笠 原 千 代 美

「詩吟クラブの皆さんの声」

いつも詩吟クラブの日を楽しみにしています。

最初は大きい声でなかったけれど、最近は大い声で詩吟がうたえるようになりました。

年に数回ある詩吟クラブの食事会が楽しみです。



文化祭 発表の様子



# ギターって楽しいな♪



ライトワークセンターには、クラブ活動の一つに『ギタークラブ』というクラブ活動があります。この『ギタークラブ』は昭和五十五年当時、光道園が石田上町にある時からのクラブ活動で、非常に歴史あるクラブとなっております。クラブメンバーは世話役の江守所長を含め総勢十二名おり、ギターを弾いたり、歌を歌ったり、エレキトーンを弾いたりと言葉が大好きなメンバーが集まっています。



練習風景

毎年、光道園の文化祭では、ワークセンターとホープセンターの、ギタークラブのメンバーが合同で発表しています。場所が離れている為、合同練習する機会もなく、実は毎年ぶっつけ本番です。職員として不安はあるのですが、メンバーの皆さんは息もぴったりで上手に演奏してくれます。演奏曲は毎年お馴染みの『花嫁』・『翼をください』など他数曲を演奏されます。

活動時間は、定期的に夕食後の六時半頃よりワークセンター内の第一作業場にて活動が行われています。活動内容としては、主にワークセンターの行事などでの発表や、年に一度開催される文化祭に出演し、お馴染みの曲を演奏しています。

平成二十五年十二月には鯖江市豊地区のふれあいコンサートにも呼ばれ、地域の子供達に演奏を披露してきました。



ギタークラブには、ギターを弾く利用者の方以外にも、三味線を弾く利用者の方がいます。伊藤正博さん自称『三味線おじさん』です。ライトワークセンターでの行事や文化祭の時にギタークラブと一緒に、三味線を演奏されています。演奏される曲は何かの曲ではなく、全てご自分で考えられた、オリジナルの曲を演



発表会当日

奏されています。替え歌を含めた、オリジナルの曲となっております。非常にユニークで面白い曲となっております。ライトワークセンターのどこかで、三味線片手に曲作りをしたり、演奏されている三味線おじさんの姿が見られる時がありますので、皆さん是非ワークセンターへ、遊びにいらして下さい。♪

ギタークラブは、他のクラブに比べて活動回数は少ないですが、活動時には楽しく活動をしています。皆さんもギタークラブの演奏を是非聴いてみてはいかがでしょうか☆

文 セルブ一課 鰐淵 百合佳



自称 三味線おじさん ☺

## 好きなことから生まれる笑顔

今年も冬がやってきました。冬と言えば雪。雪と言えばソリ遊びですよ。「ラフトレーニングセンター 通所生活介護 たねのいえ」では二月九日・十二日にソリ遊び外出に行ってきました。毎年行われるソリ遊び外出は、利用者の皆様、ご家族、職員もみんなが楽しみにしている行事の一つです。行き先は今庄365スキー場。天気も心配されましたが、晴天に恵まれみんなで思いっきりソリ滑りをエンジョイしました。

ソリ遊び当日、利用者の方をお迎えに行くと、すでにスキーウェアを着ていて準備万端でした。みんながたねのいえに到着するとマイクロバスに乗っていざ今庄365スキー場へ出発！スキー場に近づくと、道路の端の雪もほとんどなくなっていきます。出発したときは曇り空だった天候も到着したときにはすっかり晴天になっていました。到着してすぐ、参加者みんなで集合写真。うきうき、わくわくとびっきりの笑顔で「はいチーズ！」

そして待ちに待ったソリ遊びの時間です。次々と坂の上から皆さんが滑り降りてきました。「うわー」「キヤー」という声と共にとてもいい笑顔でソリを勢いよく滑らせていました。ご家族の方も一緒にソリに乗り楽しまれ、一列に並んでソリレースも行いました。

ソリ遊びが終わった後は、スキー場のレストランで美味しい昼食です。カレーやカツ丼、ラーメンにスパゲッティ、それぞれに好きなメニューを選んで美味しく食べられています。食後、ゆったりとご家族で過ごしたりごろごろしたり、そしてあつという間にもう帰る時間です。こうして楽しいソリ遊び外出は終わりました。

今回のソリ遊びを通して私を感じたことは、利用者の方から多くの笑顔を見られたことです。ソリをしている時、食事をしている時、ご家族と一緒にいる時。私は、「表情」は大きなサインのひとつだと思っています。そして、笑顔という表情は楽しいこと、好きなことから生まれてく

るのではないのでしょうか。そう考えると、皆様が笑顔を見せてくれたことは、これらの活動が楽しいものであったと思えるのです。私自身も利用者の方から笑顔もらい笑顔になるということは、利用者の皆様が笑顔にするこの仕事が好きなんだと実感することができました。



文 療護一課 大林 勇太  
撮影 岩淵 心



# ひかりっこ

## 会 分 節



はないはずで

きつと私だけ

ているのは、

る姿に癒され

内を散歩す

生たちと園

保育士の先

に乗って

んぽカー

す。おさ

にさせま

わず笑顔

職員も思

でなく、

用者だけ

な姿は利

その元氣

がたえず、

と笑い声

たちの笑顔

毎日子ども

かりっこ”。

保育施設「ひ

道園事業所内

スタートした光

昨年十月から

願ひ、今回総務二課の職員と、ひかりっこの先生たちと協力して二月三

光道園では、利用者の方々が、

楽しみを持ちながら生活していける

ように、年間行事やイベントには力

を入れていきます。もちろん、ひかりっ

こも例外ではありません。十月八日

には、秋の味覚であるさつまいも掘

りを行い、子どもたちは、どろんこ

になりながらも、小さな手の中に納

まりきらないほど大きなさつまいも

を掘り当てました。

そして二月の行事と言えば、もち

ろん節分です。邪気を追い払うため

に節分では古くから豆まきが行われ

ています。これは昔都に鬼が出てみ

んなを困らせていた時に、神様から

のお告げで豆を鬼に向かって投げて

退治したということが始まりです。

現在でもその年が無病息災で過ごせ

るように行われており、数え年の

数だけ豆を食べると病気にならず

健康でいられるとも伝えられていま

す。

光道園では、ひかりっこの子ども

たちが強く元気に育っていくことを

願ひ、今回総務二課の職員と、ひか

日の節分の日に向けて着々と準備を

進めてきました。そして当日、部屋

でいつものように元気に遊ぶ子ども

たち。その時、突然先生が驚いて入

り口を指さすと、そこから現れたの

は、総務二課職員が仮装した赤鬼と

青鬼でした。子どもたちは現れた赤

鬼と青鬼にびっくり

して泣いてしまっ

もいましたが、先生

が豆の代わりに色紙

を丸めて作ったポ

ールを渡すと、涙をこ

らえて「えいっ」とポ

ールを投げ見事鬼たちを

やつつけました。

私はそばで子どもた

ちが頑張つて鬼をやっ

つけるのを応援してい

ましたが、子どもたちが見せた小さ

な勇氣にとっても感動しました。

まだまだ始まったばかりのひか

りっこですが、子どもたちのこれか

らの成長が楽しみでなりません。

文 総務二課 兼井 雅衣  
撮影 ひかりっこ保育士



福の神 兼井栄養士



鬼は外！福は内！



福の神？ 山下栄養士

## 「仕事が好きと言う北野さんがいいね」



北野幸子さんの一日は遺影のお父さんにお水をお供え、手を合わせて「仕事の出来る良い手に産んでくれてありがとうございます。今日も一日怪我をしない様にお願います。」と感謝の気持ちを伝えて始まります。

若い頃は、お母さんについて織物工場、寿司屋、クリーニング店等の仕事をしていたそうです。

お母さんが亡くなつてからは、グループホームで生活していました。が、視力が低下してきたので平成二十五年五月に光道園に入所しました。



来年は還暦で、ちゃんちゃんこを着るのを楽しみにしているそうです。

午前中はライトワークセンターで委託作業を行い、木曜日以外の午後はライフトレーニングセンターのきらら館に行き、洗濯物タタミ、カップ洗い、お絞り巻き、手摺り拭きの仕事をしています。

きらら館の利用者の中には環境の変化に対応できない方がいらつしやるので、誰とはなしに大きな声で挨拶する北野さんは大丈夫かと慎重になり、その都度話をしてきました。

体温を測り「いつてきます。」と元氣よく挨拶をして出掛け、仕事が終わると「ありがとうございます、帰りました。」と疲れも見せず楽しそうに戻ってきます。

また、きらら館の職員からは「ありがとう。」「助かるわ。」と声をかけられとても嬉しいそうです。

そんな北野さんは「身体を動かすのが好きなんや、出来る手伝いは何でもしたい。仕事はいろんなことがあってやる気が出て嬉しい。時間が立つのが早いから大好き。」と言われます。

今日も、元氣いっぱい挨拶する北野さんの手や足音に力強さを感じます。

まだまだ好きなことがいっぱいと言う北野さんですが、もう少し肩の力を抜いて楽しみを見つけてながら頑張りたいと思います。

文 セルプ一課 渡邊 清子  
撮影 近藤 貴

### ～プロフィール～

#### ・好きなこと

- ☆お話すること
- ☆身体を動かして  
仕事をする

#### ・趣味

- ☆カラオケ
- ☆ボーリング
- ☆歩くこと

#### ・好きな歌手

- ☆嵐（櫻井翔）
- ☆水川きよし

#### ・好きな食べ物

- ☆イチゴ
- ☆バナナ
- ☆キウイ
- ☆ずいか



# 釣りっていいよね？

「最近、釣り行ってるか？」「何匹釣れた？」という言葉は同じメンバーが顔を合わすと合言葉のようになっていきます。最近、法人内にも釣り好きな職員が少しずつ増えてきており、その自然な流れで釣りクラブ「爆釣1091（入れ食い）会」が結成されました。メンバーそれぞれがメイインターゲットとしている魚種が違うため、普段は各々で釣行し、その都度、情報交換をしています。時には釣り大会を開催し、その釣果を競うこともあります。メンバーの中には幻の魚と言われるほど釣るのが難しいと言われるサクラマスや解禁日で釣ってしまう強者や琵琶湖でバスボートに乗るのが夢で船舶免許を取得してしまう者、八十センチオーバーのスズキや五十センチオーバーのブラックバスを釣り揚げてしまう者など釣りに本当に熱い人ばかりです。

解禁日にヒットさせた  
サクラマス 58センチ  
(宮本)



近年、手軽で比較的簡単に始めることが出来るルアーフィッシングがブームとなり、私たちクラブのメンバーも全員がこのルアーフィッシングにのめり込んでいます。ルアーフィッシングとは疑似餌(ルアー)を使い、ルアーをアクションさせて魚をヒットさせるという釣りであり、いかに魚の居場所を探せるか、魚が反応するルアーの動きやルアーの色を探し出せるかが釣果に

自作  
ハンドメイド  
ルアー (道端)



結びつくため、それらがマッチして魚をヒットさせた時の満足感、達成感はこの上ないものなのです。

また、新鮮な魚を持ち帰り食す事が出来るのも釣りの楽しみの一つですが、一番の楽しみと言えば川や海などの自然の中で四季を直接、身体

脂がのってて  
美味しかったです！  
(眞家)



で感じる事が出来るという事です。もちろん、釣り場には多くの危険も潜んでいるため、今後もメンバー一同充分に注意しながら釣行して行きたいと考えています。さらには川や海などで気がつくことが多いと感じられるのがゴミの多さです。一般客が捨てて行った物から釣り人が捨てて行った物まで現場には本当に多くのゴミが捨てられているのが現状です。メンバーの間でもゴミ拾いなど

の活動も今後予定して行こうと考えております。最後になりますが、釣りと言うと少し抵抗を感じてしまう方も多いと思います。しかし、一度、魚の引きや、魚とのやり取りの面白さを味わってしまうと病みつきになる方が多いです。興味のある方は是非ご連絡下さい。次にルアーフィッシングにはまってしまっのはあなたかも知れませんね？

文 爆釣1091会  
高松福祉一課 道端 秀和

デイゲームで捕った  
80センチ級  
シーバス (スズキ)  
(成瀬)



ランカービッグバス  
55センチ  
捕ったど～  
(村岡)





のぞみ工房 陶華星

光道園ライトワークセンターの「陶華星」です。  
 昨年も多くの皆様から、開運干支「夢羊（ひつじ）」をお求めいただき、誠に有難うございました。

さて、新年に入り「陶華星」では、5月の越前陶芸祭りに向けての製品作りに励んでおります。越前焼きの食器類をはじめ、レンガ造りの植木鉢、さらには「がおー」や招き猫の新品も続々と生産しています。春風と共に、陶芸村にお越しいただき、作品を見ていただければ幸いです。

また、昨年鯖江の西山公園に新しくできました「西山公園 道の駅」にも、作品を置かせていただいております。これから春にかけて、西山公園ではツツジや桜の見頃を迎えますので、こちらも是非立ち寄った際にはご覧下さい。

のぞみ工房 陶華星 〒916-8585 鯖江市和田町9-1-1 光道園ライトワークセンター内「陶華星」  
 TEL (0778) 62-8103 FAX (0778) 62-3775



手づくり工房 フ・クレール

平成26年6月より 働く障害者の生産力アップ事業の焼き菓子部門にフ・クレールも参加させていただき、ようやく6事業所各3種類の福井の食材を使った焼き菓子合計18種類が揃いました。

‘幸福度日本一’である福井県の自然の恵みをお福分け（おふくわけ）。  
 甘さ控えめの素朴な味わいと素材の香り豊かな手づくり焼き菓子です。  
 お子様のおやつ・お酒のおつまみに。



～おふくわけ焼き菓子グループ～

手づくり工房 フ・クレール 〒916-0146 丹生郡越前町朝日1丁目504番地  
 TEL (0778) 34-8801 FAX (0778) 34-8831

社会福祉法人 光道園

社会福祉法人 光道園 法人本部  
 鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 ライトワークセンター  
 鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 光が丘ワークセンター  
 丹生郡越前町朝日22-2-2

障害者支援施設 ライトホープセンター  
 丹生郡越前町朝日22-3-1

障害者支援施設 ライトトレーニングセンター  
 鯖江市和田町9-1-1

日中生活介護事業 たねのいえ  
 鯖江市和田町9-1-1

障害者支援センター こうどうえん  
 鯖江市和田町9-1-1

養護老人ホーム 第一光が丘ハウス  
 丹生郡越前町朝日22-7-1

養護(盲)老人ホーム 第二光が丘ハウス  
 丹生郡越前町朝日22-7-1

特別養護老人ホーム 第三光が丘ハウス  
 丹生郡越前町朝日22-7-1

通所介護事業所 デイサービスセンターさざんかホール  
 丹生郡越前町朝日22-7-1

訪問介護事業所 ヘルパーステーションさざんか  
 丹生郡越前町朝日22-7-1

居宅介護支援事業所 さざんかホール  
 在宅介護支援センター さざんかホール  
 丹生郡越前町朝日22-7-1

越前町障害者支援センター さざんか  
 丹生郡越前町朝日22-7-1

共同生活援助事業所 とらいと  
 丹生郡越前町朝日1-505

就労支援事業所 フ・クレール  
 丹生郡越前町朝日1-504

<http://www.kodoen.or.jp/>  
 光道園 🔍 検索